

志賀原子力発電所 2号機 原子炉建屋内への雨水流入について

志賀原子力発電所 2号機（第3回定期検査中）において、平成 28 年 9 月 28 日（水）13 時 04 分、電気設備に漏電があったことを示す警報が発生しました。

現場を調査したところ、2号機原子炉建屋内の非常用電気品（C）室（非管理区域）において、ケーブルトレイ※¹部から水が流入し、照明用の分電盤に水がかかっていることを確認しました。また、この部屋から下の階（非管理区域、管理区域）へも水が流入していることを確認しました。

原子炉建屋内への流入経路について調査したところ、以下のことを確認しました。

- ・ 当日未明からの大雨により構内道路の一部エリアが冠水
- ・ 冠水したエリアにあるピット※²の上蓋の隙間からピット内へ大量の雨水が流入し、ハンドホール※³を経由してトレンチ※⁴に流入
- ・ トレンチ内の水位が上昇し、建屋の貫通部から建屋内に流入

通常、構内道路が冠水することはありませんが、発電所構内の雨水等を排出するための排水路の付け替え工事に伴い、溜まった雨水を仮設の排水ポンプで排水しており、その排水能力を上回る大雨により冠水したものと推定しています。また、ピットの蓋は、仮設ケーブルを引き込むため隙間があり、雨水が流入しやすい状態となっていました。

なお、今回の雨水流入により照明用の分電盤で一時、漏電を示す警報が発生したものの、設備への影響及び外部への放射能の影響はありませんでした。

本事象を受け、道路が冠水しないよう仮設排水ポンプを追加設置、水がピット内へ入らないようピットの蓋の隙間を土のう等により閉止するなどの対策を実施しました。

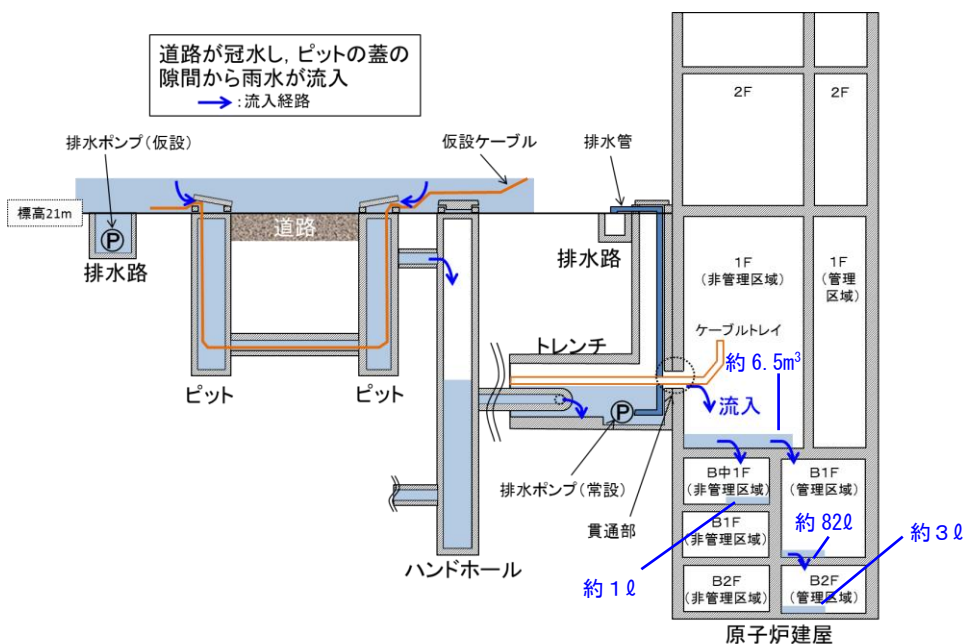
今後、再発防止に努めてまいります。

※¹ ケーブルを敷設するための金属製の受け皿

※² 今回、雨水が流入したピットは、道路上を横断せずにケーブル等を通すために設けた空間

※³ 屋外設備の電源ケーブルや通信ケーブル等、地中管路として埋設する際に、ケーブルの挿入・撤去を行うための中継用として使用される中継箱

※⁴ 配管、ケーブル等を通すための地下通路



2号機原子炉建屋への雨水流入経路（イメージ）